

年間 500 例の日帰り白内障手術を執刀。先進治療も実施

眼科西坂医院

札幌市西区発寒6条13丁目1-6
 ☎011-697-2525
<http://www.nishizaka-eye.com/>

通常の白内障手術は高齢者なら1万円程度

西坂 紀実利 院長



札幌医科大学眼科
 日開院。2012年5月開院。
 日本眼科学会認定眼科専門医、日本白内障
 学会、日本折矯正学会、日本角膜移植学会
 各会員。



開院からの累計は2500例を超えた。他院からの紹介はもちろん、評判を聞いた患者が道内各地から来院。西坂院長の手術がいかによいだろうか。

最先端の手術にも対応しており、白内障に対する先進医療である「多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術」も手がける。実施施設の認定は厚生労働省がおこなっており、18年1月現在、同手術の実施が認められているのは道内16施設、札幌市内8施設のみ。

この「多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術」は、遠視と近視の双方を矯正することができるといふ。白内障が治るだけでなく、裸眼の視力が劇的に回復する患者が数多く存在する。

手術では一点に焦点を合わせる単焦点眼内レンズを用いるが、多焦点眼内レンズは遠くにも近くにもピントを合わせることが可能です。そのため、老眼も同時に治せる。眼鏡やコンタクト、ルーペなどの視力矯正器具が不要になるケースも少なくありません」と解説する。

保険適用外だが、民間医療保険に先進医療特約が付帯していれば自己負担額がゼロになる可能性が高い。西坂院長は「特約が付いているか、ぜひ確認してください。術後のQOLが大幅に向しします」と呼びかける。

「光がまぶしい」「メガネをしても見えづらい」などの自覚症状があれば、白内障が疑われる。白内障手術を実施する医療機関は数多いが、覚えておいてほしいのが西坂紀実利院長だ。

北海道大学病院などあらゆる眼疾患を経験し、進行了白内障や角膜移植など数多くの難病指定医として活躍する眼のスペシャリストだ。中でも目立つのが白内障手術の実績。2012年の開業以来、白内障患者が西坂院長の手術を求めて来院しており、多い日には9件の手術を執刀。ここ数年は年間500例以上のオペを遂行している。その大半が日帰り白内障手術で、

西坂院長は「通常の白内障手術では一点に焦点を合わせる単焦点眼内レンズを用いるが、多焦点眼内レンズは遠くにも近くにもピントを合わせることが可能です。そのため、老眼も同時に治せる。眼鏡やコンタクト、ルーペなどの視力矯正器具が不要になるケースも少なくありません」と解説する。



スタッフがあらゆる相談にきめ細かに対応